

陵北中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

陵北中学校 二十四軒小学校 桑園小学校 日新小学校

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において
「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る



全市共通で推進する「二つの柱」

①課題探究的な学習

②発達の段階に応じた継続的な子供理解

札幌市の「小中一貫した教育」推進の四つの視点

①

②

③

④

9年間を通した子どもの
学びのつながり

子ども理解・生徒指導の
連続性

教職員の連携・協議

家庭や地域との関わり

組織図と学校教育目標



陵北中学校区・目指す15歳の子ども像

主体的に思考・判断・表現し、対話を通して伝えあえる子ども

地域の実態・願い

保護者及び地域の方々の教育への関心は高く、学校教育に深い理解を示し、学校の諸活動に対して協力的である。健全育成に地域ぐるみで取り組み、子どもたちをみんなで育てよう、という温かい風土がある。地域と学校とのつながりが強く、伝統的な行事も数多くある。

子どもの実態

素直で明るく、落ち着いている子どもが多い。仲間を認めながら、きまりや約束事を守りながら学校生活を送っている。学力的には、基礎的な学力を身に付けている子どもが多く、前向きに学ぶ姿が見られる。運動に関して意欲的な子どもとそうでない子どもがみられることから、健やかな体の育成に力をいれていくことが必要と考える。

二つの柱と四つの視点を踏まえて考えられる教育目標

目指す教育

知

- ・基本的な学習習慣を身につけ、ねばり強く課題に取り組む力
- ・主体的に課題を見つけ、挑戦しようとする力
- ・仲間とともに協力し合い、問題を解決する力
- ・他者を理解し、自らの考えを表現する力

徳

- ・互いに認め合い、高め合い、支え合う心
- ・自他の命を大切にし、思いやる心
- ・自然や美しいものに感動する心
- ・地域を大切にし、文化を受け継ごうとする心

体

- ・健康の保持増進に意欲的に努める力
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける力
- ・性に関する正しい知識と自他の命を尊重し大切に行動する力

具体的な取組

二つの柱と四つの視点を踏まえて考えられる具体的実践		
知	徳	体
* 目指す教育を踏まえた9年間の取組		
発達段階に応じた a 小1～小4 b 小5～中1 c 中2～中3 の具体的な取組		
a b c キャリアパスポートの統一化 a b c 日常の授業改善及び授業公開・研修 a b 授業見学、体験授業の実施 a b c ノート指導の在り方・研修 a b c タブレットを活用した学習の研究 a b c ICTを活用した授業実践と共同研修	a b 自然を愛し、自分たちで育て、お世話することの喜びを感じる活動の充実 a b 小学校、中学校の行事等への子どもや教職員の参加などの交流 b c スマホ、SNSの使用マナー指導の充実 a b 特別の教科「道徳」の充実と指導方法の研修 b 児童会・生徒会の交流 a b 特別な支援を必要とする児童・生徒について定期的に交流し、共通理解を図り指導に役立てる取組	a b c 各校の特色を生かした運動の推進と交流、地域に根差した運動の開発 （小・小連携、小・中連携、共同開発） a b c 栄養教諭と連携した「食育」の推進 a b c 学年の積み重ねを明確にして、性に関する指導を進めていく取組。

※ この具体的実践はすべてを実施するものではなく、これらの取組の中から年度ごとに何を重点的に実施するか検討していく。

3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
		管1 実1		実2 管2				実3 管3			実4 管4

実4：年度末評価と次年度以降への課題および実施予定の連携事業の実施時期の確認
管4：実6を受けて、評価・課題・次年度実践事項の確認と協議
管1：年度初めの顔合わせ会議（グラウンドデザインの確認、および行事予定の確認等）
実1：年度初めの顔合わせ会議（実践事項の日程調整および次回会議の内容確認等）
実2～3：実践事項の実施要領等の細案作成に向けての打ち合わせ
管2～3：各校の連携確認、各校の課題の調整協議

今年度の主な取組（予定）

- ・体験授業（3校の児童を中学校に招き、均等に分け実施）
- ・部活動体験
- ・学校祭への小学校児童の招待
- ・陵北中学校で実施する校内研修会に小学校の教員を招待しての交流研修会（ノート指導において「コーネル・メソッド」が浸透してきていることからクロームブック等を活用しての実施も視野に入れて）
- ・保護者向け入学説明会
- ・特別支援学級を含めた進学、生徒理解に関する引継ぎ